

投球障害肘 重要用語

RCT (Randomized Controlled Trial)

ランダム化比較試験。介入群と対照群にランダム割り付けを行い、介入の実施後、アウトカムを観察することで、介入群と対照群を比較する研究方法。介入の効果を明らかにするうえでは、最も優れた研究方法である。一次研究においては、エビデンスの強さは最も高いとみなされているが、実行可能性は限定されており、すべての臨床的文脈で実施できるわけではない。

JOA score (Japanese Orthopaedic Association score)

肩関節の JOA score は日本整形外科学会肩関節疾患治療成績判定基準と称され、(1)疼痛、(2)機能、(3)可動域、(4)X線所見評価、(5)関節安定性といった評価項目からなる、客観的な肩関節の総合的機能評価法。

肘関節の JOA score は日本整形外科学会-日本肘関節学会肘機能スコアと称され、(1)疼痛、(2)可動域、(3)機能、(4)スポーツ能力、(5)筋力、(6)動揺性、(6)変形、(7)合併する神経麻痺などの評価項目からなる、客観的な肘関節の総合的機能評価法。このスコアは関節リウマチ・関節症・関節炎、外傷、スポーツ、上顎炎、内・外反肘、麻痺肘、それぞれの疾患に最適化されている。

低出力超音波パルス

低出力超音波パルス (low-intensity pulsed ultrasound : LIPUS) は生体内におこる治療反応(細胞増殖や血管新生、組織修復作用)を非侵襲的に刺激することができ、整形外科や歯科領域を始めとしたさまざまな分野で用いられている物理療法の一つである。整形外科領域では主に四肢の難治性骨折(遷延治癒・偽関節)に対して実施されており、1998年から保険適応されている。

低周波超音波パルスを照射することで骨折部では、特に軟骨細胞の基質蛋白発現の立ち上がりが早くなり、細胞分化が促進される。その結果、仮骨架橋に至る骨組織の連続性を早期に回復させる効果があると考えられている。

DASH score (Disability of the Arm, shoulder and Hand score)

患者立脚型の上肢機能の評価方法。日本語版 DASH は2構成からなる。必須項目である機能障害/症状に関する30項目の質問と選択項目であるスポーツ/芸能活動、仕事に関する各々4項目の質問からなる。

KJOC score (Kerlan-Jobe Orthopaedic Clinic score)

KJOC score は (1) 肩や肘の痛み、(2) 疲労感、(3) 脱臼感、(4) ウォーミングアップといった症状や機能を評価する 4 項目と (5) 投球動作、(6) スピード、(7) コントロール、(8) 持久力、(9) 競技レベルといった投球パフォーマンスを評価する 5 項目、さらにコーチや指導者の評価の計 10 項目をからなる評価法。

WHIP (Walks plus Hits per Inning Pitched)

WHIP は野球の投手の成績評価指標のひとつ。「 $WHIP = (\text{与四球} + \text{被安打}) / \text{投球回}$ 」で算出される。

後期コッキング期

投球動作の位相のひとつ。投球動作をワインドアップ期、コッキング期、加速期、フォロースルー期の 4 つ分けられ、コッキング期はさらに早期コッキング期と後期コッキング期に分けられる。早期コッキング期はグローブがボールから離れてからステップ足（踏み込み足、右投げでは左足）が接地するまでの位相であり、後期コッキング期はステップ足接地から肩最大外旋までの位相となる。

加速期

投球動作の位相のひとつ。加速期は肩最大外旋からボールリリース（ボールが投球側の手から離れる）までの位相である。

フォロースルー期

投球動作の位相のひとつ。フォロースルー期はボールリリースから投球動作終了までの位相となる。